

高知大学医学部 産科麻酔科学講座開講記念
高知大学医学部附属病院
ALSOプロバイダーコース
2026年1月10-11日



無痛分娩・麻酔科との連携を意識

特別企画1：鉗子分娩特別講演（ハンズオン）
特別企画2：緊急CS・母体救命simulation

Advanced Life Support in Obstetrics (ALSO)とは、医師・助産師やその他の周産期医療従事者が、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースです。現在全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられています。

日本では2008年11月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、現在までにほぼ全ての都道府県で10000名以上がALSOコースを修了しています。高知県においてもこれまで数回開催されていますが、コロナ禍もあり数年休止状態でした。

無痛分娩においても、まず重要なのは通常の、適切な周産期管理です。通常の周産期管理の質が高くなければ無痛分娩の安全性以前の話です。その上で、無痛分娩に必要と思われる鉗子分娩や、重篤な合併症の対応シミュレーションを通して、本物の母児救命を学んでいただきたいと思います。

高知大学から高知県全体へ、無痛分娩を通じて質の高い周産期管理と、麻酔科との連携による母児救命の普及を！

名古屋市立大学
尾崎康彦教授による
鉗子分娩特別講演
ハンズオン

無痛分娩と
鉗子分娩の
指導スペシャリスト





高知大学医学部附属病院ALSOプロバイダーコース

主催：高知大学医学部 産科麻酔科学講座・産婦人科・麻酔科

共催：高知県 NPO法人周生期医療支援機構(OPPIC)

開催場所：高知大学医学部附属病院

高知県南国市小蓮185-1

088-866-5811

(産婦人科・永井 産科麻酔科学講座・淀川)

日時：2026年1月10日(土)～11日(日)

受講料：30000円

インストラクター・受講生とも高知県内・四国周辺を中心に募集

参加希望の方は以下の項目をalso-kochi@kochi-u.ac.jpへ

- ①氏名(ふりがな) ②メールアドレス ③所属・職種・経験年数
④参加動機(他地域の方は意気込み等) ⑤推薦者(いれば)
※参加が決まった方にはより詳細な情報を追加で教えていただきます

応募期限：10月31日くらい
11月中旬までには受講可否を
お知らせいたします

原則①高知県内②四国内
③四国周辺、の順に優先
しますが、定員に達しない
場合は他の地域からで
も参加可能です。



適切に母児を救命できる未来のために